

【コース】 ヒトの病気1

【コースディレクター】

CD：岡田 浩一(腎臓内科)

【コースの概要】

ヒトの病気－1コースは、下記の9ユニットで構成される。

このコースからいよいよ臨床医学の基礎を学ぶことになる。3年次でのヒトの病気－1および4年次でのヒトの病気－2コースを十分に理解することが、5年次に行われる臨床実習の基盤となる。

＜臨床医学の基本＞ 1. 診療の基本

＜臓器別の病気＞ 2. 呼吸器 3. 循環器 4. 消化器 5. 血液 6. 腎・泌尿器 7. 生殖器 8. 神経

＜統合的な病気＞ 9. 内分泌・代謝

【目 標】

将来、医師となるために、そして5年次での臨床実習を円滑に行うために、診療に関する基本的な事項、および呼吸器、循環器、消化器、血液、腎・泌尿器、生殖器、神経、内分泌・代謝の各分野の疾患についての基本的な知識を修得する。

個々のユニットの一般的な目標および具体的な目標については、各ユニットの項を参照のこと。

【学習方法】

1学期には、診療の基本、呼吸器、循環器、腎・泌尿器、2-3学期には消化器、血液、生殖器、神経、内分泌・代謝の各ユニットについて、講義形式で学習する。個々のユニットのフィードバック方法については、各ユニットの項を参照のこと。

【評価方法】

7月、9月、1～2月に計3回のユニット別本試験（筆記試験）を施行し、各ユニットの評価を行う。ユニット別本試験不合格者にはユニットごとに再試験を1回行う。

【指定教科書】

- ◆ コース別指定教科書一覧を参照